

令和5(2023)年度  
県立学校日本語支援事業 報告書

学校からはじめる  
多様性×共生



 沖縄県

発行：令和6(2024)年3月

ことば: んん  
普<sup>ん</sup>語: 日本語  
わががないととも、わかつたときもつかえてべんりだから。  
P.S(泊高校2年)

ことば: はりしゅいむそへ  
普<sup>ん</sup>語: ツ中程語  
言葉が特だから。  
A.N(中部商業高校1年)

ことば: 奮<sup>ん</sup> (がんはれ)  
普<sup>ん</sup>語: タイ語  
、いろいろな人に言ってきたから。  
、勇気づけられるから。  
P.S(泊高校1年)

ことば: No pain, No gain (痛みなくして得るものなし)  
普<sup>ん</sup>語: えいご  
おぼろうと思えるから。  
M.T(泊高校2年)

ことば: Why, How  
普<sup>ん</sup>語: English  
Cause i really love asking question to people.  
なぜ、どうやって?  
私は人に質問するのが大好きだから。  
H.T(宮古総合実業高校1年)

ことば: ぼっぺん (まちがえた)  
普<sup>ん</sup>語: 沖縄語  
友達とわらひながら楽しく使える言葉  
S.Z(泊高校1年)

ことば: You can do it.  
普<sup>ん</sup>語: 英語  
、人をはげますことができるから。  
、勇気をあたえることができるから。  
Z.K(中部商業高校2年)

ことば: Metanoia  
普<sup>ん</sup>語: English, 英語  
to expand it in a way to have a new perspective in one's self and the world, such as it felt like a sorrow to change one's mind and self.  
懺悔や精神的な改心から生じる、自分の生き方の変化という意味  
自分自身や世界に新たな視点を持つような形でそれを広げることは、自分の心や自分を変える旅のような気がする。  
R.A(八重山商工2年)

ことば: 明月やろうは バカやろう。  
普<sup>ん</sup>語: 日本語  
今に集中したいから。  
D.I(北中城高校2年)

ことば: ちむとんとん  
普<sup>ん</sup>語: 琉球言葉  
いつもわらわらしているから  
D.A(中部商業高校2年)

ことば: ハイサイ  
普<sup>ん</sup>語: 沖縄  
おもしろいから  
T.S(北中城高校2年)

# 生徒たちの “好きな”

①  
あなたの一番好きな  
ことばは何ですか。

# ことば<sup>!!</sup> 紹介

②

好きな  
理由は何ですか。

ことば: 楽しむ

言葉: 日本語

楽しんだほうが毎日が楽しいから。

A.Y(中部商業高校2年)

ことば: Engine

言葉: 英語

The engine needs many components  
to function as a single moving entity.

エンジン

1つの動いている物体として存在するには  
沢山の小さい部品が必要。

M.A(中部商業高校2年)

ことば: "Limit yourself to the present"

言葉: English

Because it reminds me that I shouldn't dwell on past  
regrets and anxiety of the future.

今を生きることに集中する

過去の後悔や未来への不安に浸ってはいけないと  
気づかせてくれるから。

M.T(八重山農林高校1年)

ことば: やさし

言葉: 日本語

やさしは大事なから!

J.T(中部商業高校3年)

ことば: like

言葉: 英語

増やすことが良い

S.M(北谷高校2年)

ことば: カムはれ

言葉: 日本語

カムはれるから

S.M(中部商業高校1年)

ことば: LIKE

言葉: 英語

自分の好きなことを言いたいから。

F.A(嘉手納高校2年)

ことば: てきとう

言葉: 日本語

てきとうに生けよう(歌詞)

E.M.J(北中城高校2年)

ことば: Be free like a bird/鳥のように自由になれ。  
-自由の翼-

言葉: 英語/日本語

小さいときに交か僕のために自由な人生を  
作るために、このことばを作りました。

Z.M(八重山高校1年)

ことば: ありがとう

言葉: 日本語

誰かに言われてもらったから。

P.M.L(北中城高校2年)

## はじめに

本事業が回り始めて1年が経とうとしています。

外国につながる生徒と一つ言っても

「日米国際結婚家庭の人(重国籍)」

「小学校・中学校で海外から沖縄へ移住してきた人」

「日本生まれ、日本育ちの外国ルーツの人」

「中学校までインターナショナルスクールに通っていた人」

「宮古、石垣など離島に暮らす外国ルーツの人」など



さまざまな背景を持ち、こういうタイプの人と一括りにできないです。対象となる生徒と家族が沖縄に暮らすまでの過程を理解することから、本事業を通じた支援につながっていると思っています。

生徒さんおよびご家族との面談を通じてお話しされるなかで、「海外生活ではコロナによって教育が止まっていた」、「よりよい暮らしを求めて日本・沖縄にやってきた」、「故郷を離れなくなかったけど、親を思って国境を越えた」、「沖縄の生活が長くなるほど、自分のルーツの国のアイデンティティがあいまいになることに寂しさを覚える」、「日本語はあまりできないけど、自分の生まれ育った国では成績は良かったのに…」等、日本語、母語、ボディランゲージや混ぜこぜの言葉を活用しながら語ってくれる生徒さんたちの存在は、コーディネーターおよび支援員の活動を考える上で重要な原動力につながっています。

グローバル化する日本社会において、様々な理由で国境を超える人々が存在しています。彼らのような存在は、現時点で減ることはなく、増々増加することが予想されています。家族と共に国境を越えた生徒たちは、ポジティブな気持ち、そうではない気持ちであったとしても、共通して言えることは、言語の難しさ、自分の不安な気持ちを全て言い表せないもどかしさ、将来設計を自分の思うように描いて実行できないかもしれないという不安があります。あわせて、教育現場の先生方や生徒さんたちが外国につながる生徒のためにどうか助け合いたいという願い、言葉はなくても感じている生徒もいます。

本報告書をお読みになり、初めて知ること、何か参加したいと思うこと等、いろいろ感じられることはあると思います。本事業が始まったばかりであり、まだ改善の余地もあり、課題も多々ありますが、皆様の参加でよりよいものになることを期待しております。あわせて、次年度以降も続く本事業を通じて、当事者の生徒および、生徒を取り巻く環境がよりよい方向に導かれることを祈念しております。

運営団体:株式会社 うなあ沖縄



代表 玉城直美

# 目次

## 第1章

- 5 沖縄の現状
- 7 日本語支援3本柱
- 9 日本語支援における拠点校と支援校

## 第2章

- 11 日本語支援
- 13 キャリア支援・居場所支援

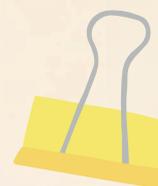
## 第3章

- 15 石垣島での交流会
- 16 Haapy2024 オンライン新年会
- 17 日本語支援員の仕事
- 18 日本語支援員研修

## 第4章

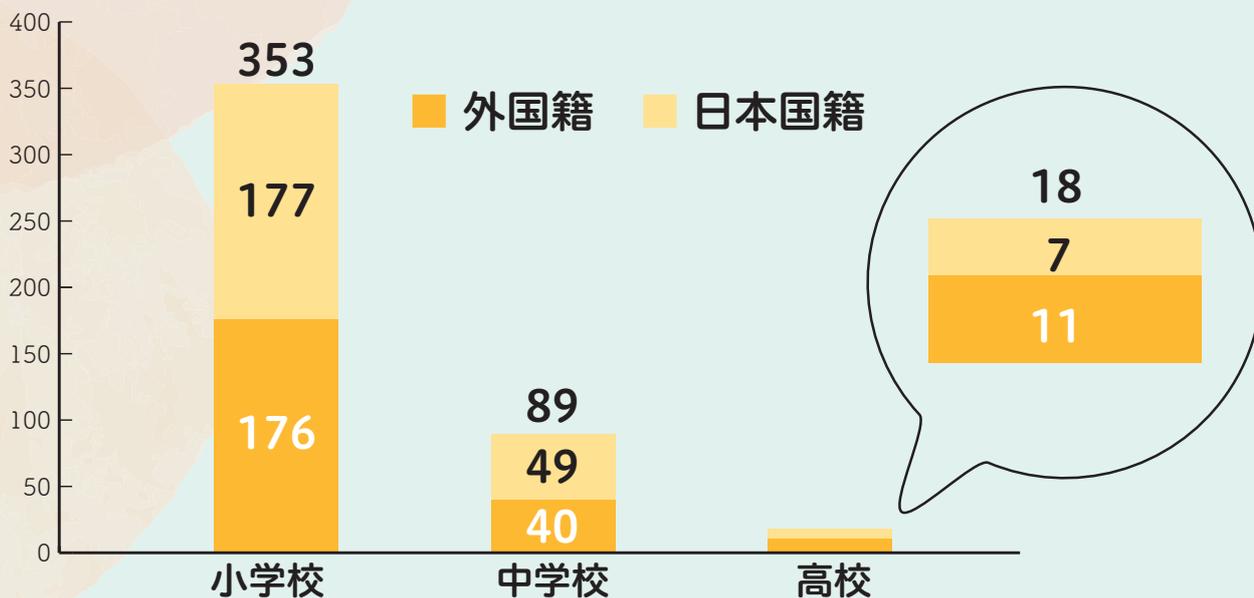
- 19 生徒の声
- 21 生徒支援のネットワーク
- 23 新聞掲載記事・ホームページ掲載

- 3 はじめに
- 24 おわりに



# 沖縄の現状

## ■沖縄県の日本語指導が必要な児童生徒の在籍人数



※文部科学省(2022)「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査結果について」を参考に作図

### 高校で支援を受けている生徒は…

- ・日米国際結婚家庭の子(重国籍)
- ・小学校・中学校で日本へ移住してきた子
- ・日本生まれ、日本育ちの外国ルーツの子
- ・中学校までインターナショナルスクールに通っていた子
- ・宮古、石垣など離島の子  
など、さまざまな背景をもっています。

### ルーツも

- ・日本
  - ・フィリピン
  - ・ブラジル
  - ・ベトナム
  - ・韓国
  - ・アメリカ
  - ・タイ
  - ・ペルー
  - ・パキスタン
  - ・中国
- など、多岐に渡ります。

#### 生徒A

- ・日本、アメリカの国際結婚家庭
- ・小学校3年生から日本の公立校
- ・母語は英語
- ・国語、社会など理解が難しい授業がある

#### 生徒B

- ・外国籍
- ・日本生まれ、日本育ち
- ・母語はポルトガル語
- ・進学に関するさまざまな課題がある

#### 生徒C

- ・外国籍
- ・中学校1年生から日本の公立校
- ・母語はタイ語
- ・日本語でのコミュニケーションが難しい

## ■日本語支援が必要な生徒とは…

文部科学省によると、

海外から帰国した児童生徒、外国人児童生徒、重国籍や保護者の一人が外国籍である等の理由で日本語以外の言語を家庭内で使用しているなどの事情により、「日本語で日常会話が十分にできない児童生徒」及び「日常会話ができて、学年相当の学習言語能力が不足し、学習活動への取組に支障が生じている児童生徒」※1

を日本語支援が必要な生徒としているようです。

日本語で日常会話がわかるようになるまでに2～3年、学習言語※2が理解できるようになるまでに5～10年程度必要だと言われており、低学年で来日した子どもや日本生まれ日本育ちだが家庭での言語が日本語以外の子どもは、高学年以降に来日した子どもより学習言語の習得に時間がかかる場合があるとされています。

子どもの日本語支援には、母語の影響が大きいと言われています。

小学校低学年以前に来日した子どもは、日常会話の習得は速いですが、母語基盤がしっかりしていないため、学習言語が充分発達するのに時間がかかる場合が多いです。

小学校高学年以降に来日した子どもは、低学年で来日した子どもより日常会話の習得に少し時間はかかりますが、母語基盤が確立されているため、学習言語の習得をする際に母語の力を借りて学習を進めることができます。

※1 文部科学省「日本語指導の対象となる児童生徒」『文部科学省』（閲覧日：2024年3月5日）  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/clarinet/003/1341927.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/1341927.htm)

※2 学習言語とは、抽象的・概念的な言語や教科学習に必要な認知・思考面に必要な言語のことです。

### 生徒D

- ・日本、アメリカの国際結婚家庭
- ・日本育ちだが、インターナショナルスクール育ち
- ・母語は英語
- ・理解が難しい授業が多い

### 生徒E

- ・日本、フィリピンの国際結婚家庭
- ・高校1年生から日本の公立校
- ・母語はタガログ語
- ・国語、社会など理解が難しい授業がある

本事業は、共生社会の実現に向けた外国につながる生徒たちの教育の質を向上させることを目指しています。

外国につながる生徒たちに対する支援体制を充実させることにより、彼らが自立できる力を育成します

# 日本語支援3本柱

日本語支援

キャリア支援

居場所支援

本事業では、コーディネーターを拠点校に配置し、支援体制を作っています。  
 コーディネーターは、専門分野や得意分野を活かし、支援の3本柱の担当をしています。

## ■日本語支援担当

主に日本語支援に関することを担当しています。  
 日本語や母語を含めた言語能力を把握するための実施計画や実施後の評価、支援方法の検討などを立案します。オンライン日本語クラスのカリキュラム作成なども行います。

## ■キャリア支援担当

主にキャリア支援に関することを担当しています。  
 キャリア支援に関する情報を収集し、個々に応じて卒業後を見据えた支援を行います。  
 また、キャリア支援関係のイベントを立案、運営します。

## ■居場所支援担当

主に心のケアを担当しています。  
 生徒が学校で安心して過ごせるよう、生徒の置かれている環境などを面談や普段の様子から確認し、環境整備を行います。

# 私たちが コーディネーターです



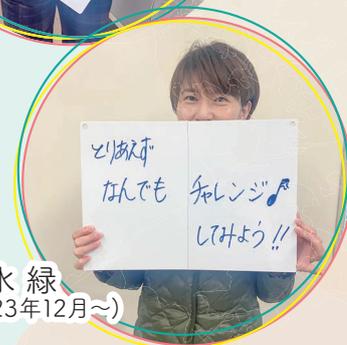
天願 千里佳



山口 枝梨佳



大仲 るみ子  
(~2023年11月)



清水 緑  
(2023年12月~)

### [資格や経験]

- 日本語教師資格
- 教員免許保持
- 多文化共生マネージャー
- ワーキングホリデー経験
- 海外留学・勤務の経験
- 元小学校日本語教室担当
- 元児童相談所生活指導員
- 元貧困家庭の子どもへの学習支援者

# 日本語支援における 拠点校と支援校



令和5年度



拠点校 / 3校



支援校 / 7校



嘉手納高校

北谷高校

北中城高校

中部商業高校

大平特別支援学校

泊高校

# 日本語支援

生徒に合わせ、主に以下の支援を行っています。  
必要な日本語支援は、生徒によって異なるため、  
それぞれに適した支援をしています。

## ■入り込み支援■

支援員が授業に入り、生徒が授業を理解しているかを確認しながら支援をします。生徒にどの授業に入ってほしいか希望を聞き、学校の日本語支援担当者や担任、教科担任と相談して、支援を行う授業を決めています。生徒から、「授業で困ったときにすぐに(支援員に)聞けるからいい」という声をもらいました。

## ■取り出し支援■

必要な生徒には、放課後を使って取り出し支援を行っています。授業を理解するために必要な日本語を学んだり、授業でわからなかったことを聞いたりと生徒によって支援は異なります。放課後の取り出し支援を受けていなくても、必要な日本語力をつけるために個別で課題(宿題)に取り組んでいる生徒もいます。

## ■オンライン日本語クラス■

授業で出てくることばは、「三平方の定理」「憂いている」など日常で使わない日本語が多いです。そのため、オンライン日本語クラスでは、教科に出てくる日本語を中心に学習しています。生徒同士の協働学習を目的とした授業を行っており、日本語だけを学ぶのではなく、自分の考えをまとめたり、意見を述べたりと、自分で考えることを重視しています。

# 日本語支援の取り組み事例

## ■入り込み支援

実施校	対象生徒	実施科目
中部商業高校	7名	現代国語、数学、歴史総合、地理、簿記、ビジネス基礎、他
北中城高校	4名	国語、数学、歴史総合、政治経済、生物、家庭科、他
泊高校	4名	現代国語、化学基礎、情報処理、家庭総合、他
宮古総合実業高校	1名	言語文化、公共、科学と人間生活、家庭総合
嘉手納高校	1名	国語表現、倫理国語、地理総合、保健

### 【支援の具体的な取り組み】

- 教科書や授業プリントのルビ振り
- 資料の多言語化
- 学校行事予定表の多言語化
- 提出課題サポート
- 教科の単語の多言語リスト作成
- 別室試験対応
- 試験の立ち合い
- 他

## ■取り出し支援

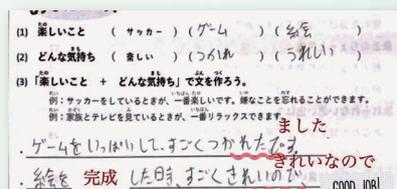
### 【放課後支援】

実施校：7校 対象生徒8名

北中城高校、北谷高校、嘉手納高校、泊高校、宮古総合実業高校、八重山高校、八重山農林高校、八重山商工高校

#### 担当支援員の声

アメリカのルーツを持つAさんへ放課後支援を行っています。Aさんは、日本とアメリカを行ったり来たりしていたので、日本語も英語も基礎がしっかり身につけていないまま成長したと考えられます。そんなAさんには、やさしい日本語と簡単な英語を使って説明したり、宿題を出したりしています。



## ■オンライン日本語クラス

- 実施回数:30回(週2回)
- 参加生徒数:5名



# キャリア支援・居場所支援

日本語支援とは、日本語を指導することだけではありません。生徒が安心して学習に向かうための「居場所支援」や、卒業後どのように生きていくかを考える「キャリア支援」も含め、包括的に支援することが大切です。

慣れない文化の中で生活することは、想像以上にストレスを感じます。外国につながる生徒は、日本へ来た背景、時期、そして日本語力もさまざまです。ほとんどの場合、保護者の都合によって来日しているため、子ども本人の意思で来たわけではないということを前提に考える必要があります。

日本で生活し、日本の学校に通うためには日本語を習得することが必要ですが、習得過程では、自分の伝えたいことを日本語で表現できずにもどかしく思ったり、周囲が理解してくれないという疎外感を感じる場合があります。

日本語に関すること以外でも例えば、



といった声もあります。

そのような生徒が安心・安全に学校へ通い学習に向かうための環境づくりも重要な支援のひとつです。

生徒が安心して支援を受けるうえで、支援者との信頼関係が必要不可欠です。日々の学校での支援において生徒に寄り添い、必要に応じて生徒が慣れ親しんだ言語で支援することもあります。これまで自分の言葉が周りになかなか通じずにいた生徒が、支援員が入ることできいきと自分の話をするようになったとの声もありました。

高校生になると、将来について具体的に考えるようになりますが、外国につながる生徒の場合、言語の壁や文化の壁、保護者の日本社会経験、就労状況等が課題になることが少なくありません。地域社会の受け入れ環境の整備も求められます。

また、学校と家庭だけでなく、サードプレイスから、地域社会への参加、社会性の獲得につなげます。

居場所支援、キャリア支援は、包括的な支援として、生徒自身が主体的に活動することを促進し、民主的な社会の形成者、主権者として成長するために大切な教育支援だと考えます。その取り組みには、学校内外での連携、保護者・家庭との連携が必須です。

# キャリア支援・居場所支援の取り組み事例

## ●生徒面談

個別面談を通して、学校や家庭での困りごとを聞き取ったり、支援の要望や生徒の目標と一緒に確認したりします。また、生徒が卒業後どのような進路を希望しているのかを聞き取ります。進路が未定の生徒に対しては、自分の将来を考えるきっかけとして、「20歳の時に自分はどこにいるのかをイメージしている？」等を問いかけたりします。

## ●保護者面談

卒業後の進路や今後の支援について考えるためには、保護者との面談も重要です。生徒と保護者それぞれに希望する進路を聞き取り、その進路に向けてどういった支援をする必要があるのか再確認および計画をします。外国籍の生徒には進路を考えるうえで重要なビザの確認もします。また、学校での支援の様子を伝えたり、家庭での困りごとがないか等を聞き取ったりします。

## ●発達評価

支援開始前に実施する「はじめのチェック」(発達の問題の有無や、日本語力把握のためのペーパーテスト)において、日本語習得に支障をきたすような発達の問題(知的発達の遅れ、学習障害、ADHDなどを含む)があることが疑われた場合に、本人及びご家族の同意を得て、言語聴覚士が発達検査を実施し問題を明らかにしていきます。発達の評価結果、及び生徒の特性や性格なども考慮し、今後必要となる学習支援・包括的支援について提案します。



発達評価の様子

## ●交流会

生徒同士のコミュニケーションを図るために交流会を実施し、その際にゲストスピーカーを招いて日本で暮らす外国ルーツの先輩の話を書くこともあります。また、外部のイベントに参加し、同じ環境の生徒同士で交流する機会がありました。交流会を通して、自己開示、他者理解、相互理解を深めながら、自己肯定感を高められればと考えます。

## ●コミュニティとの連携

生徒とつながりのある海外ルーツの地域コミュニティとつながられるよう、コーディネーターや支援員が外部と連携するようにしています。公民館や地域で開催されているイベント情報を生徒に共有し、参加を促しました。

## ●大学見学ツアー

卒業後の多様な進路のイメージ作りのために、県内の大学見学ツアーを実施できるよう、生徒へのヒアリングを実施する予定です。

# 石垣島での交流会

11月26日：参加者／8人(生徒、支援員、日本語支援担当者 他)

2月16日：参加者／11人(生徒、支援員、日本語支援担当者 他)

「自分と同じルーツ・境遇をもつ生徒がいるらしい。」噂で聞いてはいたが、実際会うのは初めての3人。会って、悩みも喜びも共有しあい、本当に素敵な時間でした。3人の姿を見て、大人たちはこっそり涙を流してしまいました。先生方、支援員も参加し、思いを共有しました。素晴らしい事業に参加できたことに感謝です。(うなゑ沖繩)



第1回

フィリピンにルーツを持つ生徒3人。支援員も参加しました。緊張気味で始まった交流会も、最後はフィリピンに思いを馳せ、「次はフィリピンのダンスをして盛り上げたいね」と話していました。



第2回

泊高校Mさん、北中城高校Mさんもオンラインで参加。オンラインとリアルで楽しみました。

離島と沖縄本島の同じルーツをもつ生徒達の交流会。沖縄本島とはオンラインで繋ぎ実施しました。交流会を通してお互い質問しあったり、共通点の発見につながったり、SNSを交換するなど、楽しい雰囲気の中コミュニケーションが活発に行われ、参加生徒からは「とても楽しかった」「次はいつやるのか?」「またやりたい」といった声が上がりました。(2月16日)

## ●交流会後の生徒の様子

放課後支援で日本語の課題に一生懸命取り組んでいます。放課後支援の勉強の時間も、同じルーツをもつ仲間とともに学べる楽しい時間になっています。

### 日本語支援 担当者の言葉

日本語支援教室、3人とも楽しみなようです。笑顔も多く仲がいですよ～。(八重山商工高校 A先生)

### 生徒の言葉

ここに来ると、日本語の勉強だけじゃなくて、仲間といろんな話ができる。勉強も難しいところがあるけど楽しい!(八重山高校 Z.M)



放課後支援で日本語の課題に一生懸命取り組んでいます。

# Happy2024 オンライン新年会

1月17日:参加者/12人(生徒、支援員、ゲストスピーカー 他)

参加した5名の生徒、支援員、ゲストスピーカーは、お互いに自分のストーリーや抱負を共有し、交流を深めました。画面越しに、にこやかな表情で想いを伝えてくれたり、学習への意欲を伝えてくれた生徒の様子が嬉しく、印象に残りました。

目的:お互いのことを話しながら、交流を深める

内容:①いま持っているモノを紹介しながら自己紹介

②ワタシのお正月ストーリー

③ゲストスピーカー(オズワルドカストロロメロさん)の活動について

④2024年のワタシの抱負共有

⑤オンライン日本語クラス、多言語スピーチ大会の案内



案内チラシ

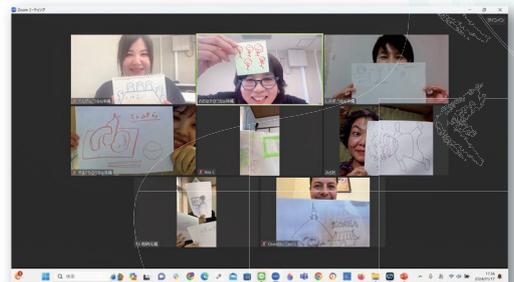
## ●ワタシのお正月ストーリー

～どんなお正月でしたか～

「家で家族とのんびり過ごしました。」

「ゲームをして楽しかった。」

「フィリピンからお姉さんが来たので一緒にお寺に行ったら、そこで一緒に支援を受けている友達に偶然会い、びっくりしました。」



新年会の様子

## ●2024年のワタシの抱負

～生徒それぞれの抱負を共有～

「日本語の勉強をがんばりたいです」

「漢字検定に合格したいです」

「マンガコンテストに応募したいです」

「勉強をがんばりたいです」



記念撮影

# 日本語支援員の仕事

生徒に寄り添い、生徒が自分らしく生きていけるよう、  
日本語支援・キャリア支援・居場所支援など、  
様々な角度から生徒へのアプローチが必要な業務です。

日本語支援員に求められることは、外国語が話せることではありません。様々なバックグラウンド・経歴を持った支援員が、「外国ルーツの高校生を支援したい」という共通の想いを持って集まっています。この支援事業は日本語支援員の存在が必要不可欠です。母語支援員や言語聴覚士の方々にも支えられています。

## 【日本語支援員】

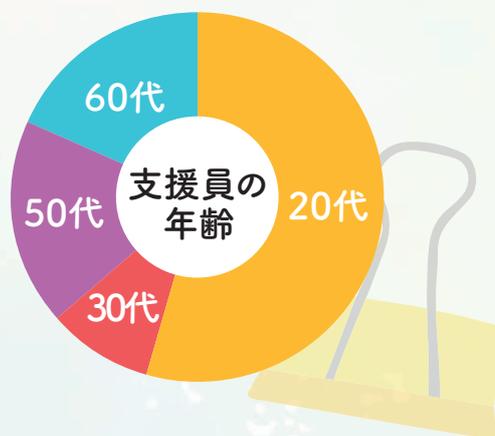
日本語支援員が保持している資格

- 日本語教師資格(4名)
- 教員免許(2名)
- カナダオンタリオ州PSW・DSW障害児等ケアの支援員資格(1名)

## 【母語支援員】

- 英語
- タガログ語
- 韓国語
- 中国語
- タイ語
- ポルトガル語

## 【言語聴覚士】



## バックグラウンド

フィリピンルーツ

国際結婚

こどもがダブル、  
親族がダブル

パソコン  
インストラクター、  
個人事業経営

韓国語、  
英語、  
ノルウェー語話者

物理系、  
ものづくり  
(技術開発)系

特別支援の  
経験

元教員、  
日本語教師、  
塾講師

平和教育活動、  
ワークショップ開催、  
戦跡研究

# 日本語支援員研修

日本語支援員として必要な知識を学び、  
日々の支援に活かすための研修を行いました。

## ■就業前研修(4回実施)

内容: 事業概要、業務規則、日本語支援研修、ヒアリング研修など

## ■支援員研修(2回実施)

1回目 内容: 日本語教育(文法)、子どもの日本語支援、ヒアリング

2回目 内容: やさしい日本語研修、各学校の支援報告、支援員間情報共有

初めて聞くことが多く、  
生徒の気持ちをよく  
知ることができた。

私たちが実践するワークが  
多くて楽しかった。  
講師からの話をただ聞くよりも、  
体験することで感じ取れることは  
多くあった。

現場で活かせる  
ものがある。

## 研修を受けた支援員の声

各学校の支援への  
関わり方が異なっていること、  
またそれぞれの支援の  
実態を知ることが出来た。

他の支援員さんたちの  
活躍や悩みごとなど  
共有できてよかったです!

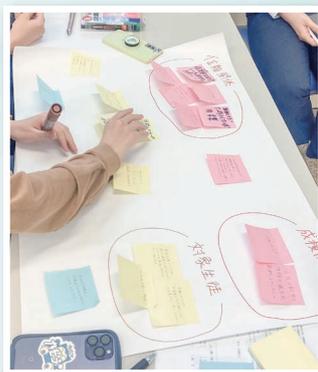
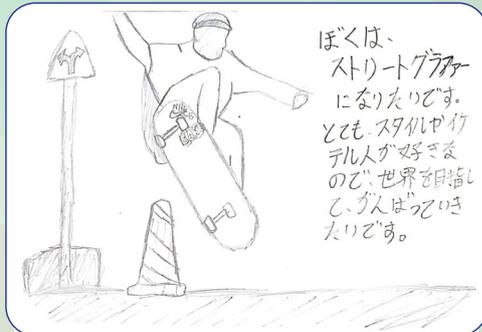


写真: 研修の様子

今のゴールをたっせいする!  
(英語検定準1級)

●A.Y 中部商業高校2年生



●S.Z 泊高校1年生



# 生徒 挑戦 みたい

もっと検定をとる

●D.A 中部商業高校2年生

- 検定をいっぱい取る
- 家事をしっかりとやる
- 自立すること
- 英語と日本語をどちらも良くしていきたい。

●Z.K 中部商業高校2年生

資格を  
たくさん取る事!

●J.T 中部商業高校3年生

ばあせんもん学校に行きたいです

●A.N 中部商業高校1年生

I want to get a job on base as a lifeguard.

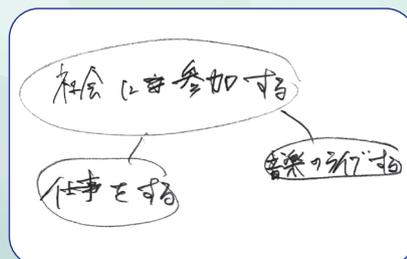
基地でライフガードの仕事に就きたい。

●M.A 中部商業高校2年生

I want to try cooking lesson. I want to know how to cook.

料理教室を試してみたい。料理の仕方を知りたい。

●P.S 泊高校1年生



●E.M.J 北中城高校2年生

合格証を増やして欲しいので合格  
したい。

●D.I北中城高校2年生

ニホから挑戦してみたいとは113人+言語を  
勉強してみたいのと韓国に行ってみたいです。

●P.M.L北中城高校2年生

I want to try believing in myself more often, I often doubt myself so much that I end up not being able to do the things I need to do because of a fear of failure, but I realized that the fear of failure does nothing but stop me from acting bravely today, so I want to trust myself and believe that I can do the things that I set out to do.  
もっと自分を信じてみたい。私はよく自分を疑いすぎて、失敗を恐れてやるべきことをやらずに終わってしまうから。だけど、失敗を恐れているのは、今この瞬間でさえ勇気をもって行動することもできないと気付いた。だから自分を信じて、やろうと思ったことはできると信じたい。

●M.T八重山農林高校1年生

の  
して  
こと



ちやんししたいことは英語スピーチに挑戦すること、  
ともだちと一緒に旅行することです！  
やりたいことはいろいろについていろいろしゃべりを決めることです！

●R.A八重山商工2年生

漢検 3級取りたいこと  
電話 恐怖症を克服するために練習中

●S.M北谷高校2年生

より良いコミュニケーションを図りたい。

●P.S泊高校2年生

良い大学に入ること

●T.S北中城高校2年生

挑戦したいことはマンガコンテスト  
に入って、賞をとりたいです。  
僕は漫画家を目標としています。

●Z.M八重山高校1年生



英語の語彙と日本語の漢字を学んでみたいです。

●H.T宮古総合実業高校2年生

# 生徒支援の ネットワーク

に

## 県内協力団体

NPO 法人ハンズオン・沖縄

独立行政法人 国際協力機構 沖縄センター

多文化ネットワークfu ふ!沖縄

琉球大学教育学部高橋美奈子研究室

宮古島社会福祉協議会

EIC沖縄

沖縄県子ども日本語教育研究会

生徒  
保護者

うなあ沖縄



下地さん



河合さん



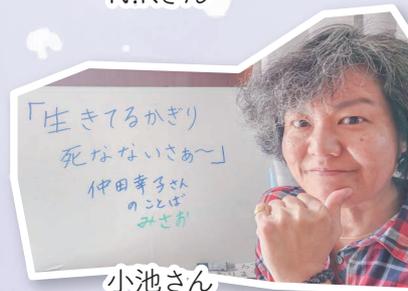
N.Kさん



池原さん



宇根さん



小池さん

ほ

ん

ご

# 海外ルーツの地域コミュニティ

ONFA 沖縄ネパール友好協会

NagoVina

在沖縄県ベトナム人協会

沖縄ブラジル協会

## 県外協力団体

NPO法人 ABC ジャパン

関東学院大学藤浪研究室



学校  
教育委員会

コーディネーター  
支援員

## 支援員から 生徒への エール



水野さん



仲地さん

*With a lot of Love*



西里さん



クログスタドさん

# 新聞記事 掲載

令和5年(2023年)10月6日(金曜日) 琉球新報 朝刊 4社 1版 019ページ 記事ID:K2023100600000010600

## 日本語支援員 募集説明会 11日、来月1日

県内の公立高校で外国につながるのある生徒への日本語支援などをする日本語支援員の募集説明会が、11日と11月1日にオンラインで開かれる。説明会はビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」

開催で、事業説明や沖縄県の現状や支援内容などの説明がある。

説明会は両日午後7時から。参加費は無料。うなゐ沖縄のホームページ内のフォームから申し込む。両日ともに前日まで申し込みができる。問い合わせは、うなゐ沖縄日本語支援事業部、電話050(3096)6408。

琉球新報

無断複製・転載を禁じます

■2023年10月06日 日本語支援員 募集説明会／11日、来月1日

## ホームページ 掲載 (HP <http://unaa-nihongo.com/>)



令和5年度県立学校 日本語支援事業

ホーム 沖縄の現状 事業概要 スタッフ 新着情報

学校からはじめる  
多様性×共生

OKINAWA

### 事業概要

- What We Do -

日本語指導が必要な児童生徒が自立出来る力を育成し、共生社会の実現に向けた外国人児童生徒等の教育の充実を図ります。

事業概要はこちら

日本語支援

生徒に合わせた入居込み支援、取り出し支援、オンライン日本語クラスなどの支援を行っています。必要な日本語支援は、生徒によって異なるため、それぞれに合わせた支援をしています。

キャリア支援

面談を通して卒業後の進路や今後の支援について考えます。進路に向けてどういった支援をする必要があるのか再確認および計画をします。

居場所支援

交流会の実施や生徒とつながりのある海外ルーツの地域コミュニティとつながれるよう、コーディネーターや支援員が外部と連携するようにしています。

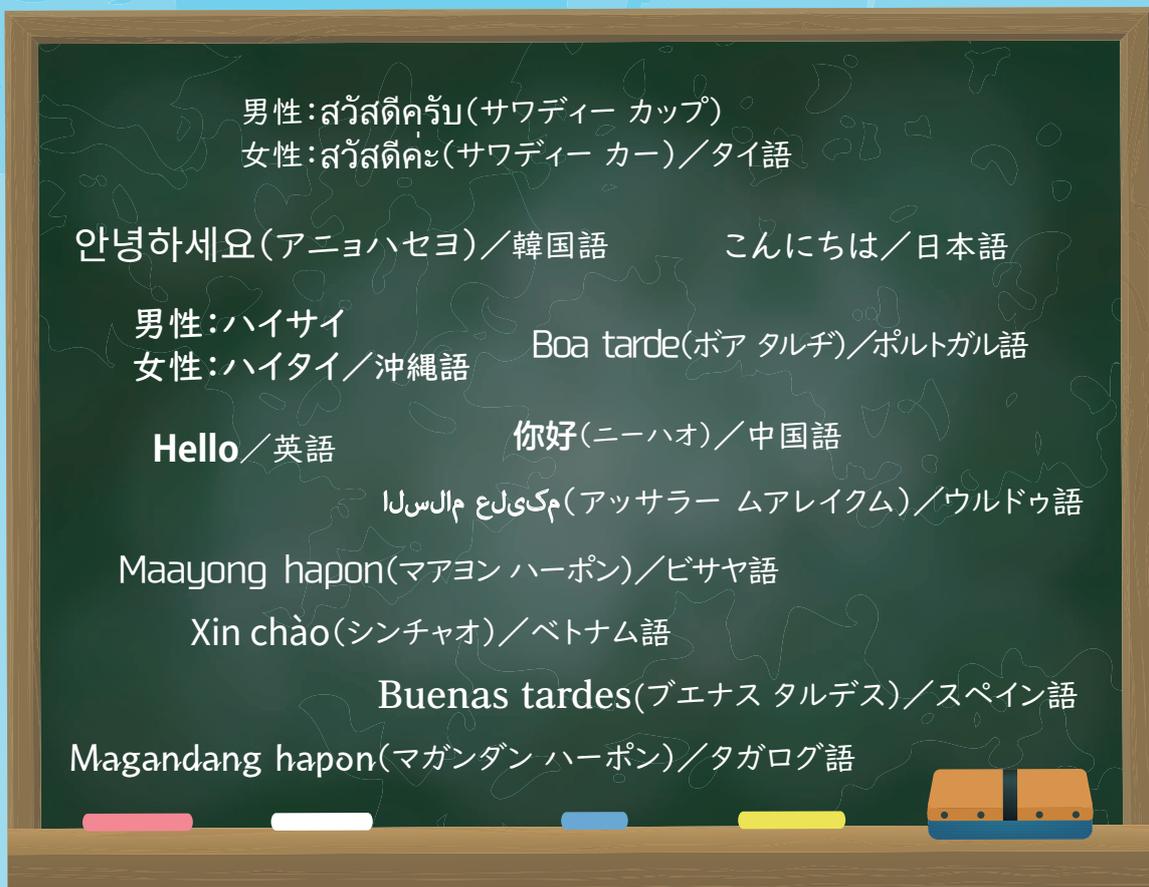
## 本事業の成果と、支援の輪が広がるために

日本語支援事業が今年度から始まり、7月から学校での支援が開始されました。

新規事業のため試行錯誤の連続ではありましたが、支援対象生徒の現状把握、各学校に合った支援の仕組みづくりに取り組むことで、多くの課題が見えてきました。



この事業が継続されより良い支援が広がることで、外国につながる子どもたちが自分らしく生きていける力を育むことができると信じています。ひいては、沖縄の子どもたち全体に波及していくことを願います。



※令和5年度支援対象生徒とのつながりのある国の「こんにちは」です。

事業主管



沖縄県教育庁県立学校教育課

〒900-8571 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 行政棟13階(南側)  
TEL:098-866-2715  
FAX:098-866-2718

事業受託



株式会社 うなあ沖縄

〒904-2232 沖縄県うるま市川田402-1 2F  
TEL:050-3000-7492  
FAX:050-3730-7940